

ま え が き

徳島県中学校教育研究会数学部会の会員の先生方におかれましては、日頃より中学校数学教育に日々ご尽力いただいておりますことに、心より感謝と敬意を表します。

昨年 11 月には、『第 42 回中国・四国算数・数学教育研究(徳島)大会兼第 52 回徳島県中学校教育研究大会』が「意欲を高め、豊かな学びを創造する算数・数学教育」の大会主題のもと、1 日目は県郷土文化会館で、2 日目は美馬市立穴吹中学校を会場に成功裏に開催することができました。これも、先生方をはじめ沢山の関係者の皆様の大変なご尽力・ご指導・ご支援のおかげと厚くお礼と感謝を申し上げます。

本年度は、政権交代で教育行政がどう変わるのかなどの心配をよそに、現文科相は昨年度から移行措置に入った新学習指導要領は、当面予定通りに実施する考えを示しています。

その学習指導要領では総則で、言語に関する関心や理解を深めたり、言語環境を整えること、言語活動を充実することなどが強調され、数学での自分の考えを分かりやすく説明する活動などの研究や実践が推し進められています。そこではこの活動をこなすのに追われるのではなく、言語活動を通して生徒にどのような力をつけるのが重要です。そしてその言語活動の充実が、基礎的・基本的な知識や技能の活用を図る学習となり、思考力・判断力・表現力などの育成、さらには探究へとつながるのではないのでしょうか。今年度は大きな節目の年です。

本研究委員会でも、新学習指導要領の趣旨をくみ取り、平成 21 年度中国・四国数学研究大会や徳島県中学校教育研究大会の大会主題と同様の「意欲を高め、豊かな学びを創造する数学教育」を研究テーマとして実践研究を進め、その成果をまとめ編集いたしました。授業実践を通しての課題等を私たち数学科教師が共有することで、今後のた現場の状況や授業等の工夫・改善につながってくれればと期待しております。

終わりにになりましたが、本誌編集にご尽力いただきました各郡市代表の研究委員の先生方、事務局の先生方に厚くお礼を申し上げ、発刊によせる言葉といたします。

平成 22 年 4 月

徳島県中学校教育研究会数学部会

会 長 森 本 昇

目 次

(第1学年)

- 1 正の数・負の数の計算.....加茂谷中学校 庄野 康志.....1
- 2 方程式の利用.....坂野中学校 春木 透.....5
- 3 資料の活用.....加茂名中学校 榊原早知子.....9
- 4 資料の活用.....勝浦中学校 高橋 勤子.....13

(第2学年)

- 5 連立方程式.....城東中学校 秦 由紀.....19
- 6 平行と合同.....北井上中学校 川尻 隆之.....25
- 7 平行と合同.....阿波中学校 天満 洋介.....29
- 8 四角形.....牟岐中学校 市村 加奈.....33
- 9 場合の数と確率.....北島中学校 石川 和義.....37

(第3学年)

- 10 多項式の計算.....三加茂中学校 武井 和夫.....43
- 11 二次方程式の利用.....徳島中学校 日野 智代.....47
- 12 平方根.....石井中学校 板橋 典子.....52
- 13 関数 $y = ax^2$ の利用 (課題学習)瀬戸中学校 佐古 高伸.....56
- 14 関数 $y = ax^2$ の利用.....相生中学校 山田 孝志.....60
- 15 図形と相似.....江原中学校 河野 昭一.....63
- 16 平行線と線分の比.....山川中学校 重清 里佳.....68